とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	敬愛たかお保育園
施設所在地	八王子市東浅川町550-32
法人名	社会福祉法人敬愛学園

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

表現遊びがより楽しくなるためにライトを使ってみよう！

＜テーマの設定理由＞

5月から親しんできた「モリアオガエル」の飼育をとおして感じたこと、体験から得た知識をもとに表現活動をしていた。その際、より世界観を表現するためにどんな方法があるかを考える場面があった。森の中はどんな感じだったか、を考えた中で「暗かった、木に囲まれていて緑色が多かった」以前おこなったライト遊びからヒントを得て「懐中電灯を使ったら色が付けられる」ということを思い出す。

２．活動スケジュール

懐中電灯では、全体を色付けることは難しい、絵で水の中を表現するのも難しい、いろいろなことを考えた中で、大きなライトを使ってみるのはどうかと保育者が提案する。お子さまから使っていたいという声が上がり、表現遊びに取り入れてみることになる。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

スポットライト2台　カラーライト（青・黄・赤）を混ぜ合わせることで色を作ることができる。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

①色で表現したいところはどの場面かを話し合う
②森・水中・蛇が出てくる場面の３場面に決定する
③森の中はどんな雰囲気だったかを話し合う→色を出しながらピッタリな色を探す
④水中、危険な場面ではどんな色にするかを試しながら決定していく
⑤決めた色を使用し、表現遊びを楽しむ

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
実際に森に行った時のことを思い出し「森の中は暗かったよね」「周りが緑に囲まれていたよね」という経験から感じ取った思いを口にしていた。それは実際どんな色なのかをライトを当てながら一緒に色探しを楽しんだ。





ださい。
のを使用ください。）

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

ライトを使用することで表現に色がつきのお子さまの表現を引き立たせる効果があるだけではなく、見る側もお子さまの作る世界観を共有することができた。また、三原色から色を混ぜていく楽しさ、不思議さを感じることができた。